

産地を異にしたハクサンシャクナゲの 実生苗の形態について

佐藤孝夫 斎藤 晶

はじめに

ハクサンシャクナゲは庭木として親しまれ、道内に広く植栽されている。この樹種は花よりも葉を主として観賞するものと言われており、なかでもエリモ岬付近に産するものは葉が広楕円形となり、とくに「エリモシャクナゲ」と呼ばれ、園芸方面からは貴重品とされている。ハクサンシャクナゲは通常山取りされるものが多いが、自然保護の立場からも今後は山取りだけにたよるわけにはいかない。増殖方法としては、さし木は困難であり、とり木は可能であるが、一度に多くの本数はのぞめない。したがって実生による増殖が良いが、生長が遅いために育苗には長期間を要する。

当場では昭和47年に、図-1に示す道内9カ所、道外3カ所の各産地から採取したハクサンシャクナゲの種子をまき、その実生苗を養成してきた。10年を経た現在の生長量や葉の形態等について産地別の比較を紹介する。

樹高と根元直径

樹高がもっとも大きいのは佐渡産で、次いで阿寒・蔵王・チミケップ・北見産の順である。

またもっとも小さいのはエリモ岬産であり、他産地に比べていちじるしく小さい。

根元直径は阿寒産がもっとも大きく、次いで蔵王・佐渡・チミケップ産の順であり、樹高との間に相関がみられる。もっとも小さいのはエリモ岬産であり、屈足産もやや小さい(図-1)。

樹高や根元直径の生長は、全般に佐渡・蔵王の本州産と阿寒・チミケップ・北見の道東地方産が良く、エリモ岬産は他産地に比べていちじるしく劣っている。

葉張り

葉張り(樹冠直径)は蔵王産がもっとも大きく、次いでチミケップ・様似・阿寒・北見産の順である。エリモ岬産がもっとも小さく、屈足

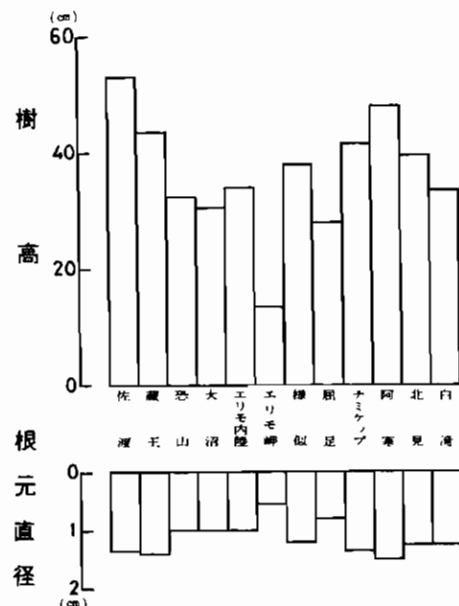


図-1 産地別の樹高と根元直径(10年生)

産もやや小さい(図-2)。一般に樹高や根元径の大きい産地のものほど葉張りも大きい傾向があるが、樹高に対する葉張りの大きさについては、エリモ岬産が他の産地に比較して大きい特色を持っている。

一枝当りの葉の数

一枝当りの葉の数は蔵王・北見産が多く、平均9.0～9.1枚である。一方エリモ岬・屈足・白滝産は少なく、平均5.5～5.9枚である(図-3)。同じハクサンシャクナゲでもこのように産地によって一枝当りの葉の数に違いがあるが、生長の速い産地のものほど葉の数も多い傾向がみられる。なお一枝当りの葉の数の最大は15枚(阿寒産)であり、最小は3枚(エリモ岬産)であった。

葉の長さとの葉の形状比

葉の長さは様似・蔵王・北見・チミケップ産の順に長く、短いのはエリモ岬産であり、屈足産もやや短い。なお測定した葉の中で最大のもののは長さ18.7cm、幅7.7cm(蔵王産)であった。

また葉の形状比(幅/長さ)はエリモ岬産が最大(平均0.580)で、道東地方のチミケップ・阿寒・北見・白滝産と様似・蔵王産が小さい。葉が長いところほど葉の形状比は小さい傾向がみられる(図-4)。測定した中で最も形状比の大きいものは0.7を越えるものがあり(エリモ岬産)、小さいものは0.3に満たないものがあった(阿寒産)。

着花状況

着花は北見・チミケップ・阿寒・蔵王・エリ

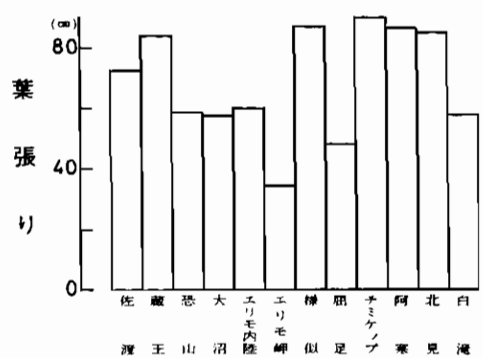


図-2 産地別の葉張り(樹冠直径)

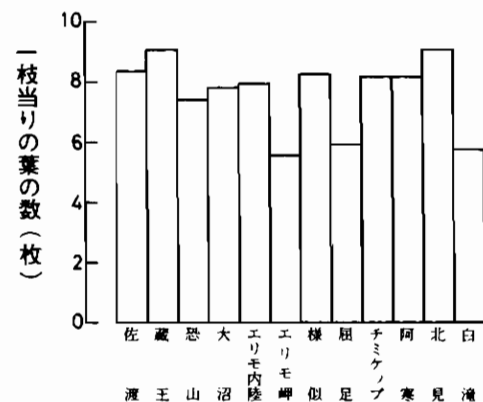


図-3 産地別の一枝当りの葉の数

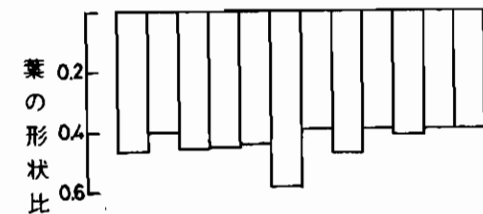
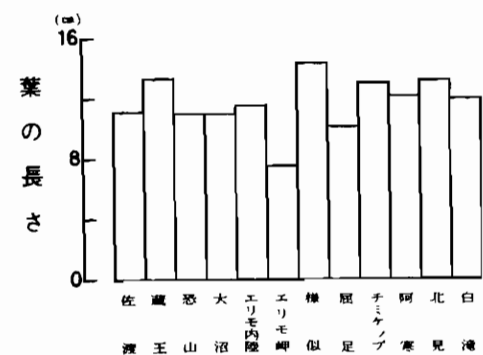


図-4 産地別の葉の長さとの葉の形状比 (幅/長さ)

モ内陸産でみられるが、いずれも着花本数は非常に少ない。概して樹高や根元径などの生長が良いところほど着花も速いようであるが、さらに観察を続ける必要がある。

むすび

佐渡・蔵王・阿寒・チミケップ・北見・様似産は全般に生長は良く、葉は細長くて大きく、一枝当りの葉の数も多い。一方エリモ岬付近のものは樹高はいちじるしく低く、葉も小さく比較的円く、さらに一枝当りの葉の数も少ない。また屈足産も生長はやや遅い。このような生長の遅速や形態の違いは多分に自生地環境条件の違いによるものと考えられ、とくにエリモ岬付近のものは風の強いきびしい環境に生育しているために特有な形態を示すようになったと考えられる。もし道内でハクサンシャクナゲの生長の良い苗木を養成するのなら道東地方のものがすぐれている。また貴重品とされている「エリモシャクナゲ」も、それどうしの交配による種子をまくと同じ形態を持つ苗木を得ることができる。

なお葉の色・光沢や葉のふちのまきこみ（葉のふちが裏面へまきこむものとほとんどまきこまないものがある）、樹形についても検討したが、個体間の差のほうがいちじるしく、産地間の差は明確ではなかった。



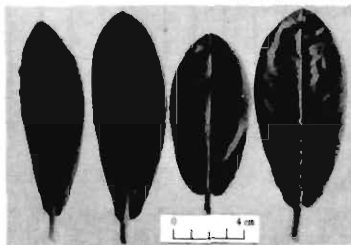
▲ 蔵王産 (樹高 51 cm)
(葉のふちがほとんどまきこまない)



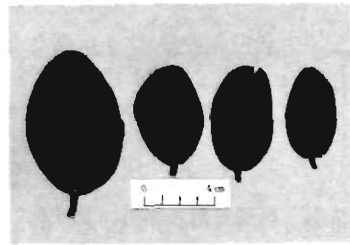
▲ 北見産 (樹高 47 cm)
(葉のふちがまきこむ)



▶ エリモ岬付近産
(樹高 10 cm)



蔵王産 大沼産



エリモ岬付近産

(樹芸樹木科)